

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年4月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機非常用ディーゼル発電設備(5B)における発電機固定子巻線温度計の巻線選択スイッチの接触不良について】</p> <p>当直員が5号機非常用ディーゼル発電設備(5B)の定例試験前データの採取で、現場制御盤の発電機固定子巻線温度計で各相温度を計測したところ、3相(U相、V相、W相)のうち、U相の温度指示値がV相、W相に比べ、著しく低い(U相:9°C、V相:33°C、W相:40°C)ことを確認。</p> <p>U相の温度指示値の妥当性確認のため、巻線温度計の測定対象巻線選択スイッチの切替え操作を数度行なった結果、切替えの都度、U相の温度指示値にバラツキがあることを確認。</p> <p>保全箇所で、温度の検出を行う測温抵抗体※の抵抗値測定を行い、温度換算を行なった結果、U相の温度は、V相、W相とほぼ同等値であり、測温抵抗体に不具合はないものと判断。</p> <p>これにより原因は、巻線温度計の測定対象巻線選択スイッチのU相回路接点が接触不良気味であると推定。</p> <p>U相の温度監視は、測温抵抗体の抵抗値測定による温度換算で監視が可能であることから、系統機能への影響なし。</p> <p>今後、代替えの監視計器を設置予定。</p> <p>代替え監視計器設置までに定例試験を実施する際は、U相のみ測温抵抗体の抵抗値測定による温度換算で監視する運用とした。</p> <p>※測温抵抗体：金属等が温度変化によって抵抗値が変化する特性を利用した温度検出器であり、抵抗値を測定し温度換算により温度を求めている。</p>	GⅢ	4月20日
2	<p>【陸側遮水壁設備 計測器盤1の盤内温度検出器の不具合について】</p> <p>当直員が免震重要棟監視室の陸側遮水壁監視用端末に「計測器盤1クーラ警報」の発生を確認。</p> <p>計測器盤内のクーラーは冷却運転中であり、また、計測器盤内の温度が周囲温度と同程度にも関わらず、盤内高温異常の表示が発生していることより、盤内温度検出器の不具合と推定。</p> <p>計測器盤内の盤内温度検出器の不具合であり、設備の運転に影響はない。</p> <p>今後、盤内クーラーを点検、修理予定。</p>	GⅢ	4月21日
3	<p>【6号機のエリア放射線モニタ(ch. 13)の検出器故障について】</p> <p>協力企業作業員が6号機のエリア放射線モニタの点検において、エリア放射線モニタ(ch. 13)の検出器を取外し、線源校正室にある中央操作室のモニタ盤に接続する伝送盤と接続した際、中央操作室のモニタ盤に指示値の下限及び軽故障警報が発生したことを確認。</p> <p>当該検出器と伝送盤のどちらかに不具合があるものと考え、検出器をエリア放射線モニタ(ch. 13)に戻したが、中央操作室のモニタ盤に指示値の下限及び軽故障警報が再発。</p> <p>同日に点検した別のエリア放射線モニタは異常なく点検できていることより、原因は、当該エリア放射線モニタの検出器の故障と推定。</p> <p>今後、当該エリア放射線モニタ検出器を交換予定。</p> <p>当該エリア放射線モニタ検出器の復旧完了までは、実施計画に基づき、1日1回人手による測定を実施。</p>	GⅢ	4月21日